

EU Indicators

発表日: 2019年10月4日(金)

欧州経済指標コメント: 9月英国PMI

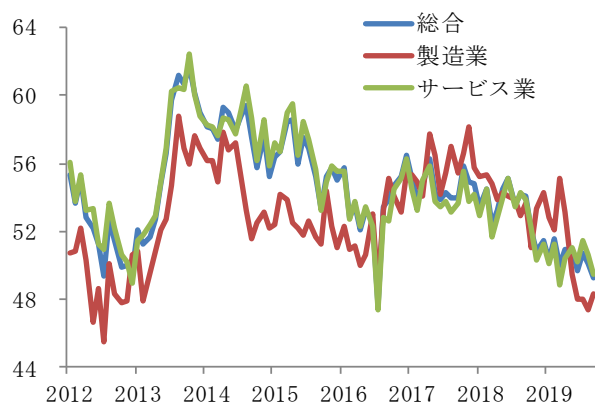
～内需の弱さが目立ってきた～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- 9月の英国の総合PMIは前月から0.9ポイント低下の49.3と、好不況の分岐点である50割れ。今年6月に2016年の国民投票後以来の50割れを記録した後、過去2ヶ月はサービス業の業況改善で50超に復帰したが、今月はサービス業の悪化が響き再び50割れとなった。内訳は、製造業（前月：47.4→今月：48.3）が5ヶ月連続の50割れと低迷継続、建設業（45.0→43.3）の悪化モメンタムが一段と拡大し、サービス業（50.6→49.5）が3月以来となる50割れに転落した。
- 製造業PMIの構成項目では、海外景気の減速とブレグジットの不透明感などを反映し、新規受注（44.4→46.4）や生産（47.7→47.9）の低迷が続いたほか、合意なき離脱に備えた在庫（49.8→53.6）積み増しの動きが再確認。前回の在庫上振れ時は離脱期限の当月（3月）がピークで、今回も来月の在庫が一段と上昇する公算が大きい。ただ、長期保存が可能な物品の一部は3月に積み増した在庫をそのまま保持している可能性もあり、前回に比べて上昇は限定的とみる。
- 今月の特徴はサービス業や雇用判断など内需周りに業況の慎重姿勢が広がってきたこと。なかでも雇用判断の落ち込みが目立ち、製造業（47.8→47.0）、サービス業（50.5→48.0）、建設業（49.5→45.7）が揃って悪化した。7-9月期のGDPは離脱期限前の在庫積み増しと輸入増で、1-3月期同様に上押しされる模様だが、業況慎重化が内需関連に波及し始めている点は気掛かり。

■英国：PMI総合



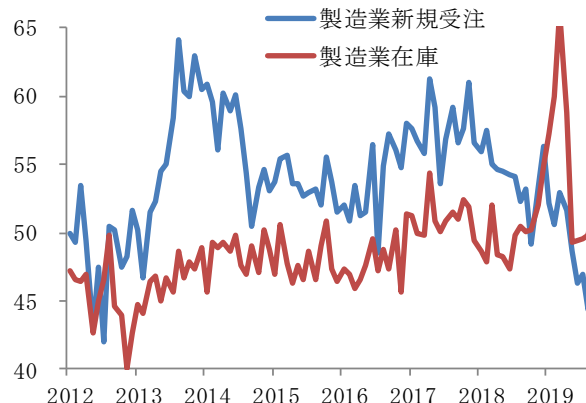
出所：IHS Markit

■英国のPMI指数（季節調整済み）

		2018				2019									
		4Q	1Q	2Q	3Q	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
英国	総合PMI	51.4	50.6	50.5	50.1	51.4	50.3	51.5	50.0	50.9	50.9	49.7	50.7	50.2	49.3
	製造業PMI指数	52.9	53.3	50.2	47.9	54.3	52.8	52.1	55.1	53.1	49.4	48.0	48.0	47.4	48.3
	サービス業PMI指数	51.3	50.1	50.5	50.5	51.2	50.1	51.3	48.9	50.4	51.0	50.2	51.4	50.6	49.5
	建設業PMI	53.1	50.0	47.4	44.5	52.8	50.6	49.5	49.7	50.5	48.6	43.1	45.3	45.0	43.3

出所：IHS Markit

■英国：製造業PMIの受注・在庫



出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

